

伊万里小

第3号 R2.6.1

5月14日の学校再開から2週間余り経過しました。緊急事態宣言は解除になりましたが、まだまだ予断を許さない状況です。保護者の皆様には毎朝の検温やマスクの準備などいろいろとご協力をいただき、本当に有り難うございます。お陰様で体調を崩す子どもたちも少なく、今できる教育活動を進めていくことができます。

例年6月にはプール開きや修学旅行、町民授業参観等の行事がありましたが、1学期の間はほとんどの行事が実施できない状況です。子どもたちの心身の健康を第一に考えながら、体を精一杯動かす、いろんな体験をする等の学習活動も徐々に増やしていければと考えています。



【一斉指導の形式になりがちですが、一人ひとりの学習状況の把握を大切にしながら進めています。】



【前を向いて無言給食です。給食前も念入りな手洗いや間隔をあけての配膳等、配慮をしています。】

こんな伊万里小に

私が子どもの頃、いつも言われていた言葉に「人様にだけは迷惑をかけるな。」「お天道様はいつも見とらす。」「辛抱無くしてできることはない。」「目上の人を大切に。礼節を尽くせ。」などがあります。今でも大切にしている言葉です。

しかし、今、「人様」「お天道様」「辛抱」「礼節」などといった言葉はほとんど聞くことがなくなりました。知恵と経験豊かなお年寄りの方の意見が通りにくい社会、自分だけが良ければよい自己中心の社会（「人様」ではなく「自分様」）、価値観が多様になりすぎて、本当のことが見えにくい社会になっています。こんな社会だからこそ、教育だけは決して『ぶれたらいけない』と思っています。

義務教育の目的は、子どもが将来一人で社会を生き抜く力をつけることです。そのために、職員一丸となって次のことに取り組んでいきます。

1 学力向上

- ◆各教科の基礎基本を中心に、その学年で必要な事柄を確実に身につけるようにします。
- ◆そのために一人ひとりの学習状況の把握と「個に応じた指導」に努めていきます。

2 豊かな心の育成

- ◆7つの目標〔3つの響くと4つのあふれる〕の具現化に全力で取り組みます。
『3つの響く』→「返事」「あいさつ」「明るい声と歌声」
『4つのあふれる』→「感謝の言葉」「思いやり」「笑顔」「活気」
- ◆自分で考え実行する力（自主性）を高めるための活動を充実させます。



全校朝会での話



『根たくましなければ自ずから育つ』という言葉があります。植物と同じように人間も根っこがしっかりしていれば、周囲の人から信頼され、困難に負けることなく自分で道を切り拓いていけるという意味です。

人の根っこの部分はいろいろあると思いますが、最も大切なことは思いやり（周りの人を大切にする気持ち）だと思います。「7つの目標」の中の返事も挨拶も感謝の言葉も相手を大切にする気持ちから出てくるものです。

先週の水曜日に6月の全校朝会がありました。その時に次のような話をしました。（要旨）



学校が再開してから、あなたたちの勉強や生活の様子を見て「さすが伊万里小学校の子どもたちだなあ」と感心したことがたくさんあります。その中で3つだけ話をします。

①一つ目は話の聞き方です。授業中など先生や友達の話をしっかり聞くことができます。話をしっかり聞くことができる人は相手を大切にできる人です。勉強も上手になりますし、心も豊かになります。

②二つ目は掃除です。1年生から6年生まで隔々まで掃いたり、膝をついて一生懸命拭いたりすることができます。とても素晴らしいと思います。掃除を一生懸命できるということは、全体のことを考え人のために行動できるということです。

③三つ目は挨拶です。最初はマスクをつけていることもあってあまり上手だとは思っていませんでした。でも、昨日今日と地域の人に元気に挨拶をしている姿を見て、間違いなく上手になっているなあと感じました。7つの目標の一つ「挨拶」を意識して努力しているんだなあ嬉しくなりました。

さて、昨年引退したイチロー選手を知っていますか。大リーグでも活躍した一流のプロ野球選手です。イチロー選手の言葉に『特別なことをするために、普段通りのあたりまえのことをする』というものがあります。「挨拶とグローブなどの道具の手入れを毎日続けてしっかり行う」という目標を立てどんな日も続けてがんばったそうです。この様子を見ていたオリックス時代の仰木監督は、「この選手はとんでもない選手になるかもしれない」と思ったという逸話が残っています。

はじめに話した「話をしっかり聞くこと」や「挨拶」、「掃除」はどれも特別なことではありません。あたりまえのことです。でもこれを、いつもどんな時も続けていくことは、とても難しいことです。でもあなたたちなら必ずできると信じています。なぜなら、掃除にしても、挨拶にしても、あなたたちはより上手にできるようになっているからです。イチロー選手と同じように目標に向かって努力することができているからです。

「きらきら伊小っ子プロジェクト」の中の『7つの目標』も特別なことではありません。「返事」「挨拶」「感謝の言葉」「思いやり」等どれも心豊かな人なら自然に行っているあたりまえのことです。前回の全校朝会でお願ひした「7つの目標」全部覚えることができましたでしょうか。覚えていない人も大丈夫です。あなたたちならすぐに覚えることができます。そして、目標に向かって精一杯努力することができるのが、あなたたちです。この素晴らしい伊万里小学校をさらに輝かせるために、7つの目標に向かって一人ひとりしっかりがんばってください。

